

平成27年度
事業報告書

学校法人 大阪歯科大学

はじめに

平成27年度は、本学の建学の精神である「博愛」と「公益」を基調として、法人・大学全体の改革目標である「五つの力の目標」と「三つの力の追加目標」の達成のため、順調に実績を重ねた。

平成27年度事業計画としては、次の7項目を実行していくことで、建学の精神のさらなる具現化、「八つの力」の達成のため取り組みを展開した。

- I. 教学（学部教育）の改革
 - 【学部 - a（第1学年～第4学年）の改革】
 - 【学部 - b（第5学年、第6学年、既卒者）の改革】
 - 【国際交流】
 - 【社会連携・社会貢献】
 - 【ガバナンス機能の改革】
- II. 大学院の改革
- III. 教員人材の整備
- IV. 附属病院の財務改革・その他の取組
- V. 歯科技工士・歯科衛生士両専門学校の改革
- VI. キャンパス施設・設備の整備
- VII. 法人・大学の管理運営

教学改革においては、学部では「アドミッション・ポリシー」に基づいた学生の受け入れを行った。教育は、「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」に基づいた特色ある授業科目を展開した。教学関係データの分析を軸とするIR室を立ち上げ活動を開始した。歯科医師国家試験合格率は、新卒者（78.1%）、既卒者（62.1%）いずれも全国平均を超えた。専門学校における教育では、国家試験合格率は歯科技工士（100%）、歯科衛生士（100%）とも全国平均を上回る好成績であった。大学院では、歯科基礎系専攻志願者への優遇策や外国人留学生特別選抜などの入学増を目指した。

研究については、科学研究費補助金獲得増や競争的資金を得た研究の活性化が進んだ。診療については、附属病院の健全経営を確保し、その社会的責任を果たせるような各種活動を推進した。また、キャンパス施設の補修については、経費と比較検討しながら慎重に実施した。

歯科技工士・歯科衛生士両専門学校を改組転換して、平成29年4月開学を目指す医療保健学部（仮称）については、鋭意設置準備を行った。

I. 教学（学部教育）の改革

大阪歯科大学は、教育基本法の規定する教育の一般的な目的と方針に則り、歯学に関する学術を中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の領野における学理技術を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって文化の創造と発展に貢献することを目的としている。

平成27年度は、大学基準協会認証評価の際、本学に対して指摘があった教育課程、卒業要件を「学則」と「大阪歯科大学学業成績評価に関する規程」に規定することにより、教学改革の方向を明確にした。

【学部 - a（第1学年～第4学年）の改革】

1. 歯学部入学志願者増加への取り組み

本学は、アドミッション・ポリシーとして、「歯科医師として社会に貢献し奉仕する使命感と気概を持つ人」、「専門的知識、技能、態度を修得するために着実に努力する人」、「国際的な視野に立って歯科医学の発展と歯科医療を担う熱意のある人」を掲げ、優秀な学生の確保に努めている。

学生の受け入れについては、オープンキャンパス、高校訪問、高校生向け進学ガイダンス「夢ナビライブ」への参加など本年度も継続して志願者の確保に広範な広報活動を行った。

オープンキャンパスは、楠葉学舎で7月、9月各1回、8月は2回（うち1回は天満橋学舎）、過去最高の延べ460名の参加人数で行われた。当日のプログラムは入試概要説明、本学学生による短期海外研修体験講演、入試に向けてのポイント講座、体験実習、ミニ講義、キャンパスツアー、個別受験相談会を実施した。第2回目となる本学附属病院で行われた入試説明会と院内ツアーは80名の参加で好評であった。

平成27年度も入学試験成績優秀者特待生制度を一部改正し、優秀な学生の確保に努めた。これは、一般入試及び大学入試センター試験利用入学試験においての措置であり、

- ・Ⅰ種（初年度学納金（入学金を除く）免除：515万円、2年次以降は授業料全額免除：380万円×5年、対象人数2名）、
 - ・Ⅱ種（初年度学納金（入学金を除く）免除：515万円、2年次以降は授業料100万円免除：100万円×5年、対象人数2名）
 - ・Ⅲ種（初年度学納金（入学金を除く）免除515万円、対象人数15名）
- となっており、在学時の勉学意欲の向上を図った。

受験機会の複数化については、一般入試（前期日程）において、東京会場（東京都品川区TOCビル）の他、福岡会場（代々木ゼミナール福岡校）を追加した。このような取り組みにより、募集人員に対する実質競争倍率は2倍を超え、平成28年度新入生128名を過不足なく充足した。

平成23年度（平成24年度入試）から実施され第5回目となる編入学試験では、8名が第2学年へ編入となった。

2. インスティテューショナル・リサーチ（IR）室の活動開始

平成27年5月に事務分掌規程を改正、上記の室に専任職員1名を配置し、次の事務を行うこととした。

- ・教育、学生支援にかかわる情報の収集、分析に関すること。
- ・研究（教員業績を含む）にかかわるデータの収集、分析に関すること。
- ・管理運営にかかわる情報の収集、分析に関すること。
- ・情報の提供による意思決定の支援に関すること。
- ・データベースを利用したデータ収集及び検証並びにデータベースの整備に関すること。
- ・学内におけるデータ及び情報の普及活動並びにデータ分析報告の支援に関すること。
- ・その他本学の計画策定、政策決定、意思決定業務等の支援に関すること。

IR室は、その活動を開始したばかりであるが、今後、教務部、学生部、歯科医学教育開発室との連携をとりながら、本学の意思決定への支援体制を整備していくものである。

3. 新カリキュラムの検証

本学は、ディプロマ・ポリシーにおいて

- ①専門的知識、技能、態度を修得し、国民の健康な生活を確保する能力
 - ②汎用能力および危機管理能力をもち、絶えず研鑽を積む習慣
 - ③地球規模で新時代の歯科医学と歯科医療を構築する能力
- の3点を学生が修得すべき能力と位置づけ、これらを受けて、

カリキュラム・ポリシーにおいて

- ①知識、技能および人間性を具えた歯科医師の養成を行うカリキュラムを編成する。
- ②学生が意欲をもって学習でき、国家試験への備えとしても万全の科目を設ける。
- ③学生中心主義に基づき、学生と教職員とのふれあいの場を数多く設置する。
- ④患者さんへの思いやりや温かな心をもった歯科医師の育成に必要な教育を行う。

の4点を掲げている。

平成27年度は、本学の建学の精神、3つのポリシーに連動する特色ある科目として、全学年実施の「ODUソーシャルコミュニティ」、第3学年で「研究チャレンジ」を開講した。

「ODUソーシャルコミュニティ」は、第1学年から第4学年までの全学生が、学長及び教職員とともに枚方市の主催する環境美化活動であるアダプトプログラムに登録し参加するという内容である。周辺の住民の方々からも好評を得ており、本学学生のイメージアップに繋がるとともに、学生の社会人としての基礎力向上にも役立っている。この地域貢献活動は、枚方市ホームページに掲載されている。

(<https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/dlgyoum/adaptprogram.html>)

「研究チャレンジ」は、過去に経験した症例を分析して自らの診断や治療の技術を検証し、国内外の文献から新しい歯科医療情報を得て、生涯を通じて「なぜ」、「どうして」という研究マインドを学生に涵養することを目的にしており、SCR Pもしくは専門学術大会での成果発表を目指している。

第4学年では、全国共用試験歯学系C B Tを臨床実習へ至る前の重要な試験として、指導体制を強化してその成績が格段に向上した。また、平成27年度からO S C Eに再試験を導入した。

従来からの第1学年次の人権論、早期臨床体験学習、社会福祉施設体験学習は引き続き学生の態度教育の柱として十分機能している。特に社会福祉体験学習は、「文部科学省・歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第1次報告(平成21年1月)を踏まえた第3回フォローアップ調査まとめ(平成28年3月31日)」で、全国歯科大学・歯学部の参考となる特色ある取組に取り上げられた。

歯科医学教育開発室により、成績下位者を対象に徹底した学修支援を実施した。

【学部 - b（第5学年、第6学年、既卒者）の改革】

第5学年は、午前8時45分からの臨床講義、午前9時15分から午後4時までの臨床実習と年5回の臨床知識試験でその成績を判定している。

臨床実習の合格基準は、診療参加経験数、観察記録による評価、臨床実習終了時試験の合格、講義出席率80%以上である。また臨床知識試験の合格基準は平均得点率65%以上である。これらはいずれも進級要件である。

第6学年は、学士試験と本学指定の模擬試験により、成績の向上に努め、また既卒者に対してもきめ細かな指導を行った結果、第109回歯科医師国家試験の合格率は新卒者(78.1%)、既卒者(62.1%)ともに全国平均を超えた。

オフィスアワーの実施

本学においてもオフィスアワーが本格的に実施された。オフィスアワーとは、教員が研究室等において学生からの授業内容や勉強方法についての質問や相談に応じる時間をいい、本学においては、年間40時間以上、1回あたり少なくとも1時間以上設定し、実施日時には教員を少なくとも1名以上、配置して対応するものとしている。

文部科学省・私立大学等改革総合支援事業

本学は、平成27年度の上記支援事業に申請し、タイプ1の「教育の質的転換」に採択された。この事業は、私立大学が行う様々な改革の全学的な取組に対し、経常費・設備費・施設費を一体として重点的に支援するために実施されるもので、さらにこの事業の一環としてアクティブラーニングのためのクリッカー等の整備も採択された。〔「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」〕

学生生活指導体制

本学の学生生活指導は、各学年の指導教授、助言教員、特別アドバイザー、教育アドバイザー、大学院生のTAにより日々行われている。昨年度同様『学生生活ハンドブック』を全学生に配付した。

また、初めての試みとして「自転車盗難防止・女性被害防止キャンペーン」が、枚方警察署により、平成27年5月26日に楠葉学舎食堂で実施された。

「薬物乱用防止講演会」が、第1学年を対象に、大阪府警、枚方署から各1名の講師を招き、平成27年6月10日午前9時から開催された。

「女性被害防止講演会」が平成27年7月17日に開催され、第1学年の女子学生58人中、50人が出席した。

「学生相談室」は、楠葉学舎と天満橋学舎において、専門の臨床心理士（非常勤3名）を置き、学生・教職員等の相談を行っている。

学生のスポーツ振興

平成27年7月、第47回全日本歯科学生総合体育大会（当番校：奥羽大学）が開催され、本学は総合で3位であり、ボウリング、空手道、アーチェリー、ヨット、漕艇の各部が優勝した。

【国際交流】

平成27年度の国際交流は、交流協定提携校を中心に学生、教員の派遣と受入が下記の日程で実施された。特に「文部科学省・歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第1次報告(平成21年1月)を踏まえた第3回フォローアップ調査まとめ(平成28年3月31日)」では、「グローバルに活躍する歯科医師の養成・国際交流」の項目で本学の「海外の大学との間に学生相互交流を実施」していることが、全国歯科大学・歯学部の参考となる特色ある取組に取り上げられた。

- ・コロンビア大学からの学生受入（平成27年4月5日～4月11日）

川添理事長・学長との懇談に始まり、楠葉学舎内の施設見学や附属病院の見学を行い、英語での特別講義を実施し、一般開業医診療所の見学として河村歯科医院を訪問した。国際交流部主催のウェルカムパーティーでは本学学生も参加し、互いに親交を深めた。

- ・アジア3大学口腔医学院からの学生受入（平成27年7月27日～31日）

南方医科大学口腔医学院（学生6名、引率教員1名）、四川大学華西口腔医学院（学生5名）、台北医学大学口腔医学院（学生5名）が、本学を訪問して特別講義(英語での講義)、天満橋学舎附属病院、外部歯科診療所を見学した。

- ・四川大学華西口腔医学院インターナショナル・サマーキャンプ（平成27年7月5日～13日）

国内から本学学生2名（5年）、日本歯科大学、東北大学歯学部の学生、他の外国からアメリカ、オランダ、タイの大学から参加した。本学の参加学生2名は大学対抗技能コンテストで1位の栄冠に輝いた。

・南方医科大学口腔医学院での短期海外研修（平成27年7月18日～24日）
学生6名（4年）の研修は、特別講義・臨床見学を主体としたプログラムで、参加学生による積極的なディスカッションが行われた。

・シドニー大学歯学部での短期海外研修（平成27年8月15日～25日）
学生4名（3年3名、4年1名）が特別講義、臨床見学を主体としたプログラムに参加した。

・山西医科大学学長訪問（平成27年11月19日）

段志光校長 他5名が、本学天満橋学舎を訪問し、理事長・学長と会談した。
本学のカリキュラム内容、本学附属病院診療室等施設の見学が行われた。

【社会連携・社会貢献】

・枚方市との連携事業への参画

枚方市と枚方所在の6大学との地域連携を図るため設置されている「学園都市ひらかた推進協議会」の第16回目会合が、平成27年6月1日関西医科大学において開催された。協議会では「中高生を対象とした大学体験事業」、「こども大学探検隊」、「ひらかた市民大学」について、これらを実施していくことが確認された。

本学においては、下記の連携事業が開催され、地域に開かれた大学として市民に開放した。

〔中高生を対象と大学体験事業〕（平成27年9月27日）

楠葉学舎において、「リアル歯科大を体験しよう」と名付けて、キャンパスツアーやミニ講義、体験実習などを行い、本学の魅力をアピールした。（受験生向けオープンキャンパス2015と併催）

〔こども大学探検隊〕（平成27年10月31日）

楠葉学舎において、本学学生有志（第1学年4名、第2学年1名、第3学年3名、第4学年9名）が運営スタッフとなり、ミニ講義、参加者の体験実習（指模型の作製実習）などが行われ好評であった。（本学楠葉祭（文化祭）と併催）

〔ひらかた市民大学〕（平成27年11月7日）

楠葉学舎において、「デジタル歯科治療で美しい口もとを」をテーマに、歯科審美学室の末瀬 一彦教授が、歯科治療や歯科技工技術のデジタル化による進展の現状について講演を行った。

さらに、枚方市が推進するもうひとつの連携事業である「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」については、平成28年3月25日に楠葉学舎において「ひらかた健康のつどい」が開催され、本学の高齢者歯科学講座の高橋一也准教授が「あなたの健康はお口から！キーワードはかかりつけ歯科医」をテーマに講演を行った。

・第23回大阪歯科大学公開講座

平成5年度から本学の恒例事業となっている公開講座は、平成27年度のメインテーマを「近未来の歯科治療 デジタルデンティストリー」として、天満

橋（９月５日、１２日）・楠葉両講座（２月２０日、２７日）の延べ受講者は５６０名を得て好評であった。

サブテーマ	講 師 (所属)	天満橋講座 受講者数	枚方講座 受講者数
デジタル化によって変わる歯科治療 - 快適な歯科治療と安全な装置の提供 を目指して -	末瀬一彦教授 (歯科審美学室)	１４８名	１６０名
デジタル化によって変わるエックス線 診断と安全性・利便性	四井資隆講師 (歯科放射線学講座)	１０１名	１５１名

・セレッソ大阪スポーツクラブとの連携研究協定締結

平成２８年２月２６日本学は、スポーツと歯科医学の関係性を具体的なデータに基づいて研究し、口腔環境の改善を通じて世界基準のトップアスリートの養成を目指すために、一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブ（代表理事・宮本 功氏）と連携研究協定を締結した。

協定の主な内容は、１．歯科医学・医療に基づくサッカー選手の育成に関する共同研究及び事業、２．歯科医学・医療によるサッカー界への貢献、３．本共同研究の活動における相互の指導者、講師等の交流、４．サッカー全般に関する情報の収集及び交換、５．その他サッカーの振興をはじめとする地域の活性化に寄与する事項の推進、の５項目となっている。

【ガバナンス機能の改革】

文部科学省が推進する大学ガバナンス改革による学校教育法等の関係法令の改正に伴い、本学においても理事長・学長の権限の強化が図られ、平成２７年４月「大阪歯科大学学則」及び「大阪歯科大学教授会・主任教授会規程」を改正した。このことにより学長が、議事を一層迅速に決定できるようになった。

Ⅱ．大学院の改革

大阪歯科大学大学院歯学研究科は、大学院生に歯学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与するとともに、大学院生を当該専攻分野に関する高度の研究指導者に養成することを目的としている。そして、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。

平成２６年度大学基準協会認証評価時の指摘事項である教育及び履修方法について授業の方法、単位の計算方法等を定めるように学則改正を検討した。

１．大学院生の入学者増加計画、外国人留学生、大学院教員の増強等

平成２８年度入試（平成２７年度実施）では、定員３０名の中、３４名の入

学者を確保した。このうち、中国からの外国人留学生入学者の1名をはじめ、平成28年度の特長として社会人特別入試を実施し、入学者が導入初年度にもかかわらず8名となり、好調な状況となった。また歯科基礎系専攻への志望者を確保する観点から、授業料の半額免除制度を継続し、3名の基礎系志願者が入学し、この制度を利用した。

専攻科については、「障害者歯科学」を新設し、これにより歯科臨床系は14専攻科となった。

平成24年度から継続して大学院教員の増強を行った他、講師（非常勤）についても補充を行った。ポストドクトラルフェローについても1名を採用した。

2. 学位論文の情報公開について

文部科学省が推奨する学術情報の公開については、本学大学院ホームページに「学位授与一覧」のバナー（<http://www.osaka-dent.ac.jp/grad/gakui>）を設け、課程博士（甲）、論文博士（乙）の区分ごとに全学位授与者の「学位記番号」、「氏名」、「論文題名」、「授与日」、「論文要旨」等を外部から閲覧できるようになっている。

3. ティーチング・アシスタントの採用について

学部学生に対する教育補助として11名の採用を行った。この採用された大学院生は手当が支給されており、ティーチング・アシスタント勤務実績報告書を義務づけている。

Ⅲ. 教員人材の整備

1. 教員評価について

本学の教員評価は、教育、研究、臨床及び学内・社会の4領域の活動を数値化し、評価結果は、講座・教室ごとの研究費の傾斜配分（教員の論文数、科学研究費助成事業・採択状況、社会的貢献）に活用している。

教員の資質向上のためのFDは、FD委員会（委員長・教務部長）による企画で実施されている。平成27年度は、下記のとおり9回にわたり実施された。

回数	開催日	テーマ	講師	参加人数
第1回	平成27年 4月27日	歯学系CBT問題公募要領と問題 作成のポイント	田中 昭男本学教授 西川 泰央本学教授 松本 尚之本学教授	111名
第2回	7月7日	クリッカーを用いた講義実施の ポイント及び基礎的な使い方	白嶋 章氏（TERADA LENON 営業部長） 上村 守氏（本学解剖学講座講師）	107名
第3回	7月21日	WebClass活用に向けて	近藤 孝道氏 （日本データパシフィック株）	106名
第4回	8月18日	歯学教育認証評価の世界的動向	森尾 郁子氏 （東京医科歯科大学教授）	113名

第5回	9月8日	アクティブラーニングの先へ ディープアクティブラーニングの提案	松下 佳代氏(京都大学高等教育研究 開発推進センター)	145名
第6回	11月19日	生命科学教育における反転学習	矢野 浩二郎氏 (大阪工業大学准教授)	128名
第7回	12月26日	授業実演を含むワークショップ	倉茂 好匡氏 (滋賀県立大学副学長)	32名
第8回	平成28年 2月9日	アクティブラーニング事例集	小野 和宏氏 (新潟大学教授)	155名
第9回	3月10日	「眠くならない授業」への挑戦	太城 康良氏 (三重大学大学院准教授)	148名

2. 大学主任教授の選出、臨床教授規程の改正、特別任用教授（特任教授）の設置

○平成27年3月末で退職した細菌学講座、口腔衛生学講座、解剖学講座、口腔解剖学講座の4名の主任教授について、速やかに選考を行い基礎系教育研究体制の充実を図った。

○臨床教授に関する規程を下記のとおり改正した。

- ・臨床及び臨床教育の充実の観点から学内外から委嘱する。
- ・学長の推薦により理事長が決定する。

○特任教授規程の制定

新たな学部又は学科を新設する場合や教育支援のため、本学理事長が、任用の必要があると認めた教員を特別任用教授（特任教授）とする規程である。

3. 大学院専攻科教員の定員の見直し

基礎系・臨床系以外の教員（英語、倫理学等）若干名の定員を新たに置くため本学大学院歯学研究科専攻科教員任用規程の改正を行った。

4. 外部資金の獲得による教育・研究活動の展開

本学における科学研究費補助金、私立大学等経常費補助金などの獲得状況は以下のとおりである。

○平成27年度科学研究費補助金（文部科学省）

基盤研究（B）	1件		
基盤研究（C）	33件		
挑戦的萌芽研究	3件		
若手研究（B）	20件		
研究活動スタート支援	2件		
合計	59件	補助金交付額	7740万円
		(間接経費	2322万円)
		合計1億	62万円

○平成27年度私立大学等経常費補助金

本学への日本私立学校振興・共済事業団からの交付額は、3億7964万3000円で、そのうち特別補助3902万1000円であった。

特別補助の内訳は以下のとおりである。

- ・大学等の国際交流の基盤整備

(海外からの学生の受け入れ、海外からの教員の招へい、学生の海外派遣、大学等の教育研究環境の国際化、実践的な語学力の取得や国際理解の推進)

- ・大学院等の機能の高度化

大学院における研究の充実(女性研究者支援)

研究施設運営支援(中央歯学研究所)

- ・授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実

卓越した学生に対する授業料減免等(特待生制度)

- ・平成27年度私立大学等改革総合支援事業

「タイプ1 教育の質的転換」2886万円(うち900万円は平成27年度私立大学等経常費補助金特別補助から交付)

○平成27年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業

1786万3000円(アクティブラーニングのためのクリッカー等の整備)

○平成27年度学術研究振興資金(日本私立学校振興・共済事業団)

交付額 100万円

研究課題 iPS細胞を用いた広域顎口腔組織欠損再生に向けた基礎的研究

○国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)難治性疾患実用化研究事業

401万8182円(共同研究)

○平成27年度「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」実施補助金

本学における中国との交流事業に関するもの 200万1429円

教員の研究業績の情報公開

本学教員の研究業績については、本学のホームページ(大学トップ>大学について>情報公開>教員一覧)に公開されており、内容は教員氏名、最終学歴、学位、著書、学術論文、学会発表等の表題を閲覧することができる。

(<http://www.osaka-dent.ac.jp/about/publication/faculty>)

また、毎年度『大阪歯科大学教育研究論文目録』を刊行し、公的機関に配付し、本学ホームページ(大学トップ>6年間の学び>研究室紹介)に掲載している。(<http://www.osaka-dent.ac.jp/study/course>)

IV. 附属病院の財務改革・その他の取組

本学附属病院の目的は、大阪歯科大学学則第1条に則り、患者の診療を通じて歯科医学の教育研究を達成するとともに、地域社会に貢献しようとするものである。大正2年10月大阪歯科医学校附属医院開設、昭和10年10月天満橋学舎に大阪歯科医学専門学校天満橋附属医院開設を経て、昭和27年2月大阪歯科大学附属病院として認可され、現在に至るまで常に地域歯科医療の中核となっている。

1. 平成27年度患者数・収入等

医療収入については、理事会傘下の法人関係委員会である附属病院経営改善委員会で過年度のデータをもとに、収支改善のための収入目標額の提言を行い、病院運営委員会において各診療科の収入目標達成状況を報告、医療収入改善に向けて各診療科で一層の収入増への取り組みを促してきた。

医療収入は、平成26年度に引き続き20億円を超えた（20億4017万620円）。平成27年度の外来患者数は25万4289人、一日平均で1048.7人、開院日数239日であった。（土曜日診療については、初診・再診合わせた平成27年度患者数は3,793人、一日平均74.37人であった。）

2. 病院情報システムの稼働

かねてから稼働準備中であった「病院情報システム」は、平成27年11月2日から本格稼働した。「病院情報システム」は、歯科電子カルテシステム系、医科・歯科共通カルテシステム系、医事会計システム系から構成され、順調に運用されている。この運用は、「大阪歯科大学附属病院 病院情報システム管理運用規程」、「大阪歯科大学附属病院診療端末における外部接続機器利用要項」（平成27年11月1日施行）に則って行われている。

同時に導入された医事会計自動精算機により、会計受付の待ち時間が従来に比べ格段に短縮されている。

3. 歯科医師の派遣、訪問歯科診療

社会福祉法人阪神福祉事業団センター診療所、日本放送協会（大阪放送局）への派遣を行った他、訪問歯科診療としては、国家公務員共済組合連合会大手前病院、関西電力病院において実施している。また、関西医科大学天満橋総合クリニックからMRIの特殊検査依頼を受け付けている。

4. 歯科医師臨床研修

平成27年度（平成28年3月末）修了者は88名で、プログラムS（単独型）18名、プログラムC（複合型）70名であった。研修歯科医受入施設は、43施設であった。平成27年度臨床研修費等補助金は、7259万6000円で、前年度比で2116万円の減額であった。

第11回大阪歯科大学附属病院歯科医師臨床研修指導歯科医講習会を平成28年1月10、11日に開催し、24名が参加した。今回の講習会で本学附属病院の専任教員のほぼ全員が指導歯科医の有資格者となった。また、研修歯科医の協力型施設選択の一環として、次年度の研修予定者と現役研修歯科医との情報交換会が平成28年3月に行われた。

5. 病診連携講演会・懇談会

例年行われている病診連携講演会・懇談会は、平成27年度で13回目を迎え、紹介元医療機関を招き平成28年2月13日に開催された。本年度医療機関から紹介された新患者数は、10,069人であった。

6. 地域医療連携

地域歯科医療の支援として、本年度もCT、MRI、歯科用CT、検体検査及び病理検査の体制を整備し、地域の診療所の多くの先生方との共同治療に利用されている。

本院と隣接する「国家公務員共済組合連合会 大手前病院」とは協力医療機関相互診療委託契約を締結しており、患者の治療に当たり、緊密な連携を取っている。3か月に1回の割合で定期的に相互の病院で、それぞれの副病院長、医員、看護師長、歯科衛生士長、事務職員等が参加し打ち合わせ会を開催し、医療連携の推進、情報交換等を話し合ってきたが、平成28年2月からは「大手前病院・大阪歯科大学附属病院協力医療機関定例連絡協議会」に改称し、更なる連携を図ることになった。

7. 医療安全講習会、医療機器安全管理講習会、院内感染対策講習会等

医療安全、院内感染防止等の講習会を平成27年度は下記の日程で開催し、多数の教職員が受講した。

- ・医療安全講習会

8月25日「ヒューマンエラーと安全管理」

12月10日、17日「苦情対応のポイント」(DVD講習) 他4回開催

- ・医薬品安全管理講習会

2月2日、4日「新病院システム(電子カルテ)導入後の医薬品処方オーダー入力に関して 問題とその対策について 医薬品の適正使用に関するお知らせ」他2回開催

- ・医療機器安全管理講習会

8月6日「デンタルユニットから見る歯科医療の安全性と世界基準のインフェクションコントロール」

11月13日「研削・切削材製品を安全にご使用いただくために」

12月8日「新ビューワーソフトウェアの機能・操作説明」 他6回開催

- ・院内感染対策講習会

8月27日「標準予防策と経路別予防策～歯科診療における職業感染対策」

10月1日①「飛沫感染対策について」

②「インフルエンザ予防接種について」

12月3日「針刺し・切創対策」 他7回開催

8. 平成27年度医療事故防止のための相互チェック

国公立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議が主体となって行っている「歯学部附属病院医療事故防止相互チェック」では、平成27年度から、私立歯科大学・歯学部附属病院の全てが参加して実施されることになった。本院には、平成27年12月4日に徳島大学病院から2名、昭和大学歯科病院から2名が来院され相互チェックが行われた。

V. 歯科技工士・歯科衛生士両専門学校の改革

1. 歯科技工士専門学校

大阪歯科大学歯科技工士専門学校は、歯科技工士としての必要な知識と技術を修得せしめるとともに、更に高度な技術の向上を図ることを目的としている。

優秀な生徒の確保を目指し、高校訪問、ホームページや独自の広報誌である O D U T E C H journal を刊行し、実際の歯科技工の現場で働く卒業生の声を掲載するなど地道な広報活動を行い、入学試験は、推薦、一般、A O の区分で実施した。教育は「義歯専攻コース」、「C A D / C A M 専攻コース」、「インプラント専攻コース」の3つのコースを選択し、特色ある医療専門職教育を行った。2年間の教育課程を経て受験となる歯科技工士国家試験は、平成27年度では合格率100%である。

平成27年度の就職状況は、求人件数156件、求人倍率13.2で、主な就職先は、総合病院、診療所、歯科医院、歯科技工所及び一般企業があり、平成27年度就職率は100%である。

2. 歯科衛生士専門学校

大阪歯科大学歯科衛生士専門学校は、歯科衛生士として必要な知識と技術を修得せしめるとともに教養の向上を図ることを目的としている。

生徒募集については、高校訪問、ホームページなどにより積極的な広報活動を行い、入学試験は、推薦等、一般、A O の区分で実施した。平成27年4月から教育訓練給付制度（専門実践教育）の指定を受けた。

3年間の教育課程を経て受験となる歯科衛生士国家試験の合格率は、平成27年度では100%である。

平成27年度の就職状況は、求人件数951件、求人倍率22.1%で、主な就職先は、総合病院、診療所、歯科医院及び一般企業があり、平成27年度就職率は100%である。

3. 大阪歯科大学医療保健学部（仮称）設置認可申請について

本学理事会において、歯科技工士・歯科衛生士両専門学校の将来のあり方が検討された結果、平成29年4月開設を目指し、医療保健学部（仮称）として、改組転換を図ることとなった。

同学部は、口腔保健学科（定員70名）と口腔工学科（定員30名）の2学科を置き、本学の建学の精神である「博愛」と「公益」に基づき、幅広い人間観、専門知識、技能をもって歯科医療を担う熱意のある人を育成することを目的としている。現在、文部科学省に設置認可申請中であり、本学医療保健学部（仮称）設置準備室が、オープンキャンパスの開催に向けて詳細を検討中である。

Ⅵ. キャンパス施設・設備の整備

自習室の整備

本学は、学生の自主性を育み、「自学自修」できる環境を整えることに注力してきた。平成27年度は、第4学年対象の自習室を楠葉学舎の自転車置場を改修して設置した。学舎別の自習室整備状況（全学舎における自習室総床面積：2,287.13㎡：内訳・楠葉903.30㎡、天満橋816.71㎡、100周年記念館567.12㎡）は、下表のとおりである。

〔学舎別自習室整備状況（平成28年3月末現在）〕

■ 楠葉学舎（利用時間：8時から21時まで）

号館階数	室名	席数	割当学年	床面積（㎡）
2号館1階	自習室	101	第4学年	205.86
2号館3階	ゼミ室3・4	48	第2学年	56.41
	学生自習室	32	第1学年	73.00
4号館2階	自習室①	19	第3学年	49.43
	自習室②	19	第4学年	49.43
4号館1階	食堂	240	共用	469.17

■ 天満橋学舎（利用時間：正課以外の時間で21時まで。ただし、西館3階は7時から21時、西館5階・臨床講義室は17時～21時、本館14階プラザフォーティーン14時～19時で、利用できない場合もある。）

号館階数	室名	席数	割当学年	床面積（㎡）
西館5階	臨床講義室	150	第5学年	203.90
西館3階	ゼミ室12	4	第6学年	17.08
	自習室	141		285.97
南館1階	ゼミ室 8	12		19.30
	ゼミ室 9	18		14.86
	ゼミ室10	18		14.45
	ゼミ室11	8		16.13
本館14階	プラザフォーティーン	80	第5学年	245.08

■ 創立100周年記念館（利用時間：8時から19時まで）

階数	室名	席数	割当学年	床面積（㎡）
3階	301中講義室	168	第6学年	227.75
	302ゼミ室	15		37.99
	303ゼミ室	15		35.64
2階	201小講義室	30		127.45
	202小講義室	25		100.30
	203ゼミ室	15		37.99

図書館サービスの充実

本学の図書館は、十分な教育研究活動を行うために、必要な質・量の図書、学術雑誌、電子媒体（和書、洋書等の蔵書179,080冊、電子ジャーナル4,921）等を備え、専門的知識を持つ職員を配置し、学生の要望に応じている。また、卒業生、学外の方の一部にも利用開放している。

楠葉学舎本館は、平日8時45分から20時まで（試験期間は21時まで）、土・日・祝日は試験期間の11時から18時まで開館しており、天満橋分室は、平日8時45分から21時まで（4月、3月は20時まで）、土・日は11時から18時まで開館している。

情報設備等の運用・管理

教育情報センターが、本学のICT（情報通信技術）関係の運営・管理を行っており、3学舎間のネットワーク設備についてその充実に努めている。

平成27年7月21日より、楠葉学舎4号館2階学内書店横のスペース（23.76㎡）に学生用オープン端末（パソコン8台、レーザープリンタ1台）を設置し、学生の利用を開始した。

VII. 法人・大学の管理運営

- ・平成27年度は、経費の抑制を図るとともに教育・研究・臨床の各活動の活性化に努めた。人材の育成、施設設備の整備、業務の改善を進めた。

- ・節電ビズ、ウォームビズの実施時期を早め、省エネルギー意識の高揚を図ることで、エネルギーコストの削減を行った。

- ・人材育成について、従来から行っているOJTの他に、文部科学省、日本私立大学協会、日本私立歯科大学協会などの関係機関等が主催する研修会に事務職員を派遣した。

- ・平成27年8月には、課長補佐以上の事務職員を対象に、「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて（平成24年8月28日中央教育審議会答申）について」と題して「SD研修会」を開催した。

- ・教職員の人権意識の向上を図るために、平成28年2月に「人権講演会」を開催した。テーマは、「職場のハラスメント問題の動向」であり、ハラスメント問題に関する近年の動向を紹介し、教育指導上留意したいポイントについて学んだ。

[附属資料]

1. 平成 27 年度学生数 () は女子 (平成 27 年 5 月 1 日現在)

大学	第 1 学年	1 3 8 (5 9)	大学院	第 1 学年	2 4 (6)
	第 2 学年	1 4 4 (7 1)		第 2 学年	1 7 (4)
	第 3 学年	1 4 6 (5 2)		第 3 学年	2 5 (9)
	第 4 学年	1 3 6 (5 6)		第 4 学年	1 9 (1 1)
	第 5 学年	1 3 0 (5 8)			8 5 (3 0)
	第 6 学年	1 4 0 (5 8)			
		8 3 4 (3 5 4)			

歯科技工士専門学校	1 年	1 2 (4)	専攻科 1 年	5 (1)
	2 年	1 0 (3)	専攻科 2 年	4 (0)
		2 2 (7)		9 (1)

歯科衛生士専門学校	1 年	5 2 (5 2)
	2 年	4 2 (4 2)
	3 年	4 5 (4 5)
		1 3 9 (1 3 9)

2. 第 109 回歯科医師国家試験の結果 平成 28 年 3 月 18 日合格発表

	(総 数)			(新 卒)			(既 卒)		
	受験者数	合格者数	合格率%	受験者数	合格者数	合格率%	受験者数	合格者数	合格率%
本学	160	111	69.4	73	57	78.1	87	54	62.1
全国	3,103	1,973	63.6	1,969	1,436	72.9	1,134	537	47.4

3. 平成 28 年度入学試験状況

	(志願者)	(合格者)	(入学者)
[大学] 推薦入試	5 6	3 9	1 2 8
一般入試 (前期)	2 2 9	7 4	
一般入試 (後期)	6 5	3	
センター (前期)	7 4	1 0	
センター (後期)	1 6	3	
外国人留学生	0	0	
編 入 学 (前期)	6	5	8
編 入 学 (後期)	3	3	
[大学院] 一般入試 (一次)	1 0	9	3 4
一般入試 (二次)	1 7	1 3	
一般入試 (三次)	3	3	
外国人留学生特別選抜	1	1	
社会人特別	8	8	

[歯科技工士専門学校]	(志願者)	(合格者)	(入学者)
歯科技工士学科	1 1	1 1	1 1
編 入 学	1	1	1
専攻科	1	1	1
[歯科衛生士専門学校]	7 5	5 0	4 6

4. 平成 26 年度会計実査 平成 27 年 4 月 2 日 (木)
5. 大学・大学院入学式 平成 27 年 4 月 3 日 (金) 午前 10 時 (於：楠葉学舎)
6. 平成 27 年度大学新入生研修
平成 27 年 4 月 3 日 (金) 午後 12 時 30 分 (於：楠葉学舎)
4 月 6 日 (月) 午前 9 時 (於：牧野学舎)
4 月 7 日 (火) 午前 9 時 (於：楠葉学舎)
7. 平成 27 年度 F D セミナー (本文参照)
8. 解剖体慰霊祭 平成 27 年 5 月 15 日 (金) 午後 2 時 (於：四天王寺)
9. 平成 26 年度監事監査 平成 27 年 5 月 18 日、19 日 (於：楠葉学舎)
10. 平成 27 年度薬物乱用防止講演会
平成 27 年 6 月 10 日 (水) 午前 9 時 (於：楠葉学舎)
講師：大阪府警・枚方署各 1 名 対象者：第 1 学年
11. 大学父兄会・共済会総会 (於：楠葉学舎)
平成 27 年 6 月 27 日 (土) 午後 1 時 出席者数 296 名
12. 平成 27 年度女性被害防止講演会 (於：楠葉学舎)
平成 27 年 7 月 17 日 (金) 1 年女子学生 50 名出席
13. オープンキャンパス (於：楠葉学舎 (第 1・2・4 回)、天満橋学舎 (第 3 回))
・第 1 回 平成 27 年 7 月 19 日 (日) 158 名参加 (うち、学生 79 名)
・第 2 回 平成 27 年 8 月 1 日 (土) 109 名参加 (うち、学生 62 名)
・第 3 回 平成 27 年 8 月 13 日 (木) 80 名参加 (うち、学生 35 名)
・第 4 回 平成 27 年 9 月 27 日 (日) 113 名参加 (うち、学生 54 名)

14. 第47回全日本歯科学学生総合体育大会（当番校：奥羽大学歯学部）
平成27年7月31日（金）～8月12日（水） 総合第3位
15. 第23回公開講座
・メインテーマ 「近未来の歯科治療 デジタルデンティストリー」
・日程 天満橋講座 平成27年9月5日（土）、12日（土）
受講者延べ249名（於：100周年記念館）
枚方講座 平成28年2月20日（土）、27日（土）
受講者延べ311名（於：楠葉学舎）
（時間はいずれも午前10時～正午）
16. 第6学年父兄会（於：100周年記念館）
平成27年9月19日（土）午後2時 53人出席、
17. 平成27年度地方父兄会（兵庫県）（於：三宮研修センター）
平成27年10月18日（日）午前10時 保護者33組出席
18. 平成27年度大学祭（テーマ：KIZUNA）
・体育祭 平成27年10月24日（土）（於：牧野学舎）
・文化祭 平成27年10月31日（土）、11月1日（日）（於：楠葉学舎）
19. 平成27年度解剖体遺骨返還式（於：楠葉学舎）
平成27年10月30日（金）午後2時
20. 実験動物慰霊祭 平成27年11月20日（金）午後1時30分（於：楠葉学舎）
21. 平成27年度自衛消防訓練 楠葉学舎 平成27年11月20日（金）
牧野学舎 平成27年12月 1日（火）
天満橋学舎 平成27年11月24日（火）
22. 平成27年全学教職員忘年慰労会 平成27年12月28日（於：天満橋学舎）
23. 平成28年新年互礼会 平成28年1月5日（於：楠葉学舎）
24. 2015年度人権講演会（於：100周年記念館）

- 平成 28 年 2 月 16 日（火）午後 4 時 教職員 127 名出席
テーマ「職場のハラスメント問題の動向」 講師：人権教育室 李 嘉永講師
25. 教授退職記念講演会（於：100 周年記念館）
覚道健治主任教授 平成 28 年 2 月 21 日（日）午後 1 時
26. 平成 27 年度共用試験歯学系 CBT 並びに OSCE
・CBT 平成 28 年 3 月 1 日（火）午前 9 時 30 分（於：楠葉学舎）
・OSCE 平成 28 年 3 月 20 日（日）午前 9 時（於：天満橋学舎）
27. 平成 27 年度卒業式並びに大学院学位認証式
平成 28 年 3 月 11 日（金）午前 10 時（於：楠葉学舎）
28. 平成 27 年度歯科医師臨床研修修了証授与式
平成 28 年 3 月 25 日（金）午後 2 時 30 分（於：天満橋学舎）
29. 大学特待生の採用
2 年 2 名・3 年 2 名・4 年 2 名・5 年 2 名・6 年 2 名、授業料 100 万円免除
30. 大学学内奨学生選考
2 名の学生に対して総額 1,750,000 円の奨学金を貸与
31. 平成 28 年度臨床研修歯科医の募集定員
単独型研修方式 40 名、複合型研修方式 120 名
32. 学位授与
学位記番号 甲第 768 号～ 787 号 20 名に学位記授与
学位記番号 乙第 1594 号～1602 号 9 名に学位記授与
33. 第 4 学年自習室（楠葉学舎 2 号館 1 階）完成・引渡し（9 月 30 日）
席数 101 席（個別 47 席、グループ 54 席）
34. 平成 27 年度法人理事会・法人評議員会・主任教授会・教授会・大学院研究科会議
1) 法人理事会 16 回開催
(平成 27 年 4 月 23 日、5 月 28 日(2 回)、6 月 25 日、7 月 23 日、8 月 27 日、
9 月 24 日(2 回)、10 月 29 日、11 月 26 日、12 月 28 日、平成 28 年 1 月 28 日、
2 月 25 日(2 回)、3 月 24 日(2 回))

2) 法人評議員会 4回開催

(平成27年5月28日、9月24日、平成28年2月25日、3月24日)

3) 主任教授会 27回開催

(平成27年4月8日、4月22日、5月13日、5月27日、6月10日、
7月8日、7月22日、8月12日、9月9日、9月16日、10月14日、
10月21日、11月11日、11月25日、12月2日、12月9日、
平成28年1月13日、1月18日、1月26日、2月3日、2月10日、
2月24日、3月2日、3月9日、3月23日、3月29日、3月30日)

4) 教授会 2回開催

(平成27年4月8日、平成28年3月30日)

5) 大学院研究科会議 16回開催

(平成27年4月22日、5月27日、6月24日、7月22日、8月26日、
9月18日、10月14日、10月28日、11月25日、12月22日、
平成28年1月27日、2月10日、2月24日、3月9日、3月16日、
3月23日)

35. 本学関係 褒章・叙勲の受章者等

1) 叙位 故 山本 卓世 名誉教授 従五位 共2名

2) 褒章 大学25回 釜谷 隆秋 兵庫県 藍綬褒章

3) 叙勲 大学1回 山本 直哉 滋賀県 瑞宝双光章 共12名

4) 平成27年度文部科学省医学教育等関係業務功労者表彰

附属病院 歯科衛生士主任 藤林 由利安、看護師主任 入江 隆子

36. 教職員数 (平成28年3月1日現在: 353名)

1) 大学 337名

教員数 178名

学長1名、主任教授26名、専任教授6名、准教授23名、講師68名、
助教52名、病院教授1名、病院助教1名

職員数 159名

事務・技術75名、医療83名、労務1名

2) 歯科技工士専門学校 8名

教員5名、事務3名

3) 歯科衛生士専門学校 8名

教員6名、事務2名

37. 人事

1. 法人関係

- 1) 理事長再任 川添 堯彬 (平成 27 年 10 月 1 日付)
- 2) 理事就任 小正 裕 (教学兼人事担当)
- 3) 教授定年退職に伴う理事退任 覚道 健治
- 4) 評議員就任 松本 尚之 共 5 名
- 5) 評議員再任 川添 堯彬 (平成 27 年 10 月 29 日付)
- 6) 評議員退任 大坂 尚史 共 2 名
- 7) 顧問再委嘱 上田 雅俊 (平成 27 年 10 月 1 日付)

2. 学長再任 川添 堯彬 (任期：平成 27 年 10 月 1 日～平成 31 年 9 月 30 日)

3. 名誉教授称号授与 神原正樹、諏訪文彦、福島久典、岩井康智、川合進二郎

4. 退職

- 1) 定年退職 口腔外科学第二講座 主任教授 覚道 健治 共 8 名
- 2) 依願退職 口腔衛生学講座 准教授 川崎 弘二 共 19 名
- 3) 任期付職員任期満了退職 附属病院 放射線技師 井筒 哲也
- 4) 再雇用契約満了退職 総務課人権担当 事務職員 野中 登貴男

5. 昇任

- 1) 主任教授 解剖学講座 歯学博士 竹村 明道 共 2 名
- 2) 定年退職に伴う教授特別昇任 体育学教室 准教授 長家 秀博
- 3) 退職に伴う准教授特別昇任 高齢者歯科学講座 講師 樋口 裕一
- 4) 講師 有歯補綴咬合学講座 助教 鳥井 克典 共 4 名
- 5) 職員 総務課長 吉村 里美 共 12 名

6. 任用

- 1) 主任教授 口腔解剖学講座 博士 (歯学) 田村 功 共 3 名
- 2) 専任教授 歯科医学教育開発室 歯学博士 西川 哲成
- 3) 口腔インプラント学講座講師 口腔インプラント科 講師 新井是宣 共 2 名
- 4) 助教 歯周病学講座 博士 (歯学) 嘉藤 弘仁 共 5 名
- 5) 大学院教員 大学院教授 馬場 俊輔 共 4 名、大学院助教 篠永ゆかり
- 6) 看護師 附属病院 福岡 玲菜 共 5 名
- 7) 任期付職員の正規職員登用 教務学生課 主任 中谷 悟 共 5 名
- 8) 任期付職員新規採用 歯科医学教育開発室 事務職員 成海 友在 共 6 名
7. 任期制教員契約更新 歯科医学教育開発室 専任教授 王 宝禮 共 8 名
8. リサーチ・アシスタント採用 口腔外科学第一 松下 巧 共 6 名
9. 所属異動 病院庶務課卒後研修担当 共 9 名
10. 兼務 内部監査室 室長 下田 亮介 共 2 名
11. 定年退職後再雇用 医事課 事務職員 森田 恭生 共 3 名
12. 定年退職後再々雇用 総務課人権担当 事務職員 野中登貴男 共 2 名

13. 委嘱

- 1) 客員教授 大阪歯科大学附属病院 元病院教授 北條 博一 共7名
- 2) 客員准教授 大阪歯科大学口腔治療学講座 元准教授 好川 正孝
- 3) Honorary Visiting Professor 南方医科大学口腔医学院 教授 呉 補領
- 4) Visiting Professor

韓国慶熙大学校歯科大学 主任教授 Young-Guk Park 共9名

- 5) 平成27年度講師(非常勤) 解剖学講座 清水 孝治 共396名

(平成27年4月1日付)

- 6) 臨床教授 口腔インプラント科 江藤 隆徳 共3名
- 7) 嘱託 関西医科大学眼科学講座 教授(医師) 西村 哲哉 共15名
- 8) 医科当直医師

関西医科大学附属滝井病院内科 医師 玉置 岳史 共8名

- 9) 病院医員64名
- 10) 医員 附属病院内科 医員 大串 美奈子
- 11) 臨床准教授等70名
- 12) ティーチング・アシスタント 口腔外科学第一 上田 衛 共12名
- 13) 平成27年度ポストドクトラルフェロー 口腔外科学第二 渡辺 昌広
- 14) 学生相談室カウンセラー 臨床心理士 安西 珠希 共3名
- 15) 医務室嘱託医師 大阪大学医学部 助教(医師) 木田 博
- 16) 各種委員会委員長

(1) 大学関係

カリキュラム委員会委員長 田中 昭男
ブラッシュアップ委員会委員長 今井 弘一
研究倫理委員会委員長 小正 裕

(2) 法人関係

両専門学校の大学への移行に関する準備委員会委員長 川添 堯彬

- 17) 学年指導教授・助言教員・特別アドバイザー(平成27年4月8日現在)

学年指導教授 1年 藤原 眞一、2年 王 宝禮、3年 西川 泰央
4年 今井 弘一、5年 有田 憲司、6年 梅田 誠

6年副指導教授 前田 博史 教育アドバイザー 王 宝禮 共3名

助言教員 1年 松原 英一 共9名、2年 川島 渉 共8名

3年 松田 哲史 共8名、4年 竹村 明道 共8名

特別アドバイザー 5年 谷本 啓彰 共13名、6年 戸田 伊紀 共24名

- 18) 平成27年度学友会会長 主任教授 松本 尚之

38. 学外活動

1) 教授海外視察 有歯補綴咬合学講座 主任教授 田中 昌博

2) 教員海外研修 細菌学講座 講師 山根 一芳 共2件

3) 国際交流

(1) 中国5大学との共同研究

・受入

四川大学華西口腔医学院 1名 (期間:平成27年11月8日~29日)

・派遣

南方医科大学口腔医学院

小児歯科学講座 有田主任教授 (期間:平成27年11月18日~20日)

河合助教 (期間:平成27年11月18日~22日)

(2) 海外協定校との交流

・受入

南方医科大学口腔医学院 院長共3名 (期間:平成27年4月2日~3日)

コロンビア大学 学生3名 (期間:平成27年4月5日~11日)

南方医科大学口腔医学院 学生6名、教員2名

四川大学華西口腔医学院 学生5名

台北医学大学口腔医学院 学生5名

(以上 期間:平成27年7月27日~31日)

山西医科大学 学長共6名 (平成27年11月19日)

南方医科大学 副学長共5名 (平成28年3月10日)

・派遣

西安第四軍医大学口腔医学院 80周年記念式典

高齢者歯科学講座 小正主任教授 (期間:平成27年10月16日~18日)

歯科東洋医学室 方専任教授 (期間:平成27年10月16日~22日)

四川大学華西口腔医学院インターナショナルサマーキャンプ 学生2名 (5年)

引率教員:窪講師 (期間:平成27年7月5日~13日)

南方医科大学口腔医学院 学生6名 (4年)

引率教員:向井助教 (期間:平成27年7月18日~24日)

シドニー大学歯学部 学生4名 (3年3名、4年1名)

引率教員:岩田講師 (期間:平成27年8月15日~25日)

コロンビア大学歯学部 学生6名 (5年)

引率教員:上村講師 (期間:平成28年3月12日~22日)

キングスカレッジロンドン 学生4名 (5年)

引率教員:益野准教授 (期間:平成28年3月12日~22日)

39. 補助金・助成金

1) 平成27年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金交付 (10件)

- 助成金交付額 2,496,000 円
- 2) 平成 27 年度大阪歯科大学学術研究奨励資金 3,500,000 円
(内 1,000,000 円は、日本私立学校振興・共済事業団より平成 27 年度学術研究振興資金として交付)
研究課題「iPS 細胞を用いた広域顎口腔組織欠損再生に向けた基礎的研究」
- 3) 平成 27 年度科学研究費補助金交付 (文部科学省) (本文参照)
- 4) 平成 27 年度私立大学等経常費補助金交付額 370,643,000 円
(内 28,860,000 円は私立大学等改革総合支援事業)
- 5) 平成 27 年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業補助金交付額
「アクティブラーニングのためのクリッカー等の整備」17,863,000 円
- 6) 平成 27 年度臨床研修費等補助金交付額 72,596,000 円
- 7) 国際交流助成
小児歯科学講座 主任教授 有田 憲司 共 16 件に対し 3,221,676 円の助成
- 8) 寄贈
大阪歯科大学専門 30 回卒業生 (みとわ会) 300,000 円 共 4 件

40. 諸規程

- 1) 大阪歯科大学学則 (一部改正)
- 2) 大阪歯科大学教授会・主任教授会規程 (一部改正)
- 3) 大阪歯科大学学位規程 (一部改正)
- 4) 学位論文審査申し合わせ (一部改正)
- 5) 大阪歯科大学大学院歯学研究科博士 (歯学) 学位授与調査会規程 (一部改正)
- 6) 大阪歯科大学奨学金貸与規程 (一部改正)
- 7) 学校法人大阪歯科大学臨床研究利益相反ポリシー (施行)
- 8) 学校法人大阪歯科大学臨床研究利益相反管理規程 (施行)
- 9) 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校学則 (一部改正)
- 10) 大阪歯科大学授業評価実施規程 (施行)
- 11) 大阪歯科大学における研究者行動規範 (施行)
- 12) 大阪歯科大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程 (施行)
- 13) 大阪歯科大学における障がいのある学生の修学等の支援に関する指針 (施行)
(以上 平成 27 年 4 月 1 日付)
- 14) 学校法人大阪歯科大学事務組織及び事務分掌規程 (一部改正)
- 15) 学校法人大阪歯科大学事務組織表 (一部改正)
(以上 平成 27 年 5 月 28 日付)
- 16) 大阪歯科大学大学入試センター試験実施委員会規程 (施行)
- 17) 大阪歯科大学オフィスアワー実施規程 (施行)

- 18) 大阪歯科大学教務部委員会規程（一部改正）
19) 入学試験委員会規程（一部改正）
(以上 平成 27 年 6 月 25 日付)
- 20) 大阪歯科大学 G P A 制度の実施に関する規程（施行）
(平成 27 年 7 月 23 日付)
- 21) 特待生に関する内規（一部改正）
22) 臨床実習連絡委員会規程（一部改正） (以上 平成 27 年 8 月 27 日付)
- 23) 第 1 ～第 4 学年の再入学申合せ事項（一部改正）
24) 第 5 学年の再入学申合せ事項（一部改正）
25) 第 6 学年の再入学申合せ事項（一部改正）
(以上 平成 27 年 9 月 24 日付)
- 26) 大阪歯科大学附属病院病院情報システム管理運用規程（施行）
27) 大阪歯科大学附属病院診療端末における外部接続機器利用要項（施行）
(以上 平成 27 年 11 月 1 日付)
- 28) 学校法人大阪歯科大学嘱託規程（一部改正）
29) 教員の兼務、出張及び研修に関する内規（一部改正）
(以上 平成 27 年 11 月 26 日付)
- 30) 学校法人大阪歯科大学就業規則（一部改正）
31) 特定個人情報等取扱規程（施行）
(以上 平成 27 年 12 月 28 日付)
- 32) 大阪歯科大学附属病院臨床研修歯科医就業規則（一部改正）
33) 大阪歯科大学附属病院病院医員就業規則（一部改正）
34) 特定個人情報等の取扱いに関する細則（施行）
(以上 平成 28 年 1 月 1 日付)
- 35) 新入学特待生に関する内規（施行）
(平成 28 年 1 月 28 日付)
- 36) 大阪歯科大学学則（一部改正）
37) 大阪歯科大学臨床教授規程（一部改正）
38) 大阪歯科大学客員教員規程（一部改正）
39) 学校法人大阪歯科大学特任教授規程（施行）
(以上 平成 28 年 2 月 25 日付)
- 40) 学校法人大阪歯科大学寄附行為（一部改正）
(平成 28 年 3 月 10 日付)